



大いなる多摩学会共催

多摩大学 グローバルスタディーズ学部 地域連携市民講座

『観光から知の再武装-藤沢の新たなレガシーに向けて-』

多摩大学グローバルスタディーズ学部は、2015年に藤沢市・藤沢市観光協会と観光連携等協力協定を締結して以降、藤沢市の観光、特にインバウンドの発展に関連する様々なプロジェクトや活動に参画してまいりました。2020年、東京オリンピック・パラリンピックが開催される年を迎え、教職員・学生ともども地元・藤沢の活動により積極的に参加して、これまで以上に地域に貢献できるようにと考えております。藤沢に在する大学として、地元のシンクタンク・知のセンターとして皆様のお役に立てると大変嬉しいのです。

オリンピック・パラリンピック開催年初に大学と地域の関係を深めたく、2020年2月29日に観光をテーマに市民講座を開催いたします。市民講座では、観光学を専門とする5人の教職員が自身の調査研究成果に触れながら観光学の最先端を紹介し、学生・留学生が地元・藤沢から学んだ地域連携や国際交流について発表いたします。また、市民講座に参加して下さる皆様と、オリンピック・パラリンピック後の藤沢のレガシーについてワークショップ形式でディスカッションしたいと計画しております。皆様ご多忙かと存じますが、是非ご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

時間	演題・登壇者
13:30-13:35	開会の挨拶 安田震一 多摩大学副学長兼グローバルスタディーズ学部長
13:35-15:00	『観光学の最先端-多摩大学湘南キャンパスからの発信-』 「インバウンドの新たな動向-インドと韓国の事例から-」 -インバウンド3000万人時代到来:インド人との接し方- 太田哲 多摩大学教授 -韓国からの訪日旅行の動向- 韓準祐 多摩大学専任講師 「観光大国・中国の現在」 -農村への注目:中国における「農家楽」の取り組み- 李崗 多摩大学専任講師 -親子でDIY:中国人観光客の体験旅行- 田中孝枝 多摩大学専任講師 「旅から見える世界の多様性」 -文化的景観を旅する:日本、イギリス、メキシコ、スペインを巡って- 堂下恵 多摩大学教授 〈質疑応答〉
15:10-15:30	『多摩大学グローバルスタディーズ学部の地域連携・国際交流』 安田震一 多摩大学副学長兼グローバルスタディーズ学部長
15:30-16:10	学生発表『多摩大学湘南キャンパスの学生が藤沢から学ぶ地域連携・国際交流』 -多摩大学生・留学生4グループによる藤沢市の観光や姉妹都市についての発表-
16:20-17:20	ワークショップ『藤沢の次のレガシーを考える』 -参加者、学生、留学生、教職員全員で藤沢の新たなレガシーを考えます-
17:20-17:30	閉会の挨拶 安田震一 多摩大学副学長兼グローバルスタディーズ学部長

【会場】藤沢商工会館 ミナパーク 5階 502号室

【時間】2020年2月29日(土)13:30-17:30

【費用】無料

【対象】藤沢市在住・在勤・在学の方

【申込方法】FAX、Eメールにて住所・氏名・年齢・職業・電話番号をご記入の上お申込みください。

【申込締切】2月21日(金)

【申込先】多摩大学 湘南キャンパス事業推進室
〒252-0805 藤沢市円行802
Tel:(0466)82-3331 Fax:(0466)82-5070
E-Mail: sgs-pro@gr.tama.ac.jp

